

# 神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第070号(通算)

令和4年9月22日(木)発行

いよいよ9月も下旬となりました。秋のお彼岸の季節です。読書の秋となりました。先日読んでいたエッセイの中で次のような言葉に出会いました。「**運がいい人も、運が悪い人もいない**」です。俳優であり作家の中谷彰宏さんの言葉だそうです。「**運がいい人も、運が悪い人もいない。運がいいと思う人と、運が悪いと思う人がいるだけだ**」つまり、運のよしあしは解釈次第であり、どちらになるかは、本人の気持ちしだいで決まるということです。皆さんも、いい本と出会えますように。

## ～こせ渓谷紀行～

田部田の郵便局を過ぎて、永田橋に向かう途中に「こせ渓谷3.6km」という案内標識が立っています。以前から気になっていたのも夏休みの散策コースとして、こせ渓谷(万之瀬渓谷)を目指してみました。こせ渓谷自体は、南さつま市の観光案内に載っているそうです。



途中には、ミカンの木もあり、もう大きな実がついていました。間もなく実りの秋となりそうで、待ち遠しいです。



しばらく行くと、道路沿いの広場に上のような案内図が設置されていました。説明文には、『水を利用するために作られたダムや堰(せき)や自然に出来た大きな高低差(滝など)のために、生き物たちは川を遡上(そじょう)したり下ったりと、自由に行き来できなくなっていました。万之瀬川には、「**轟の滝魚道**」と「**こせの**

**滝魚道**」が作られ、生き物たちが自由に行き来できる環境が出来上がり、生き物たちの生態系保護に役立っています』とありました。



ジグザグに人工的な川の流れを作ることによって、生き物たちが自由に移動できるようになっています。「こせの滝魚道」は、「ボックス型魚道」と呼ばれる施設があり、高低差7mを克服するために大変な工夫がなされています。



こせ渓谷までの道には、数百メートルおきに、←このような案内標識が設置されており、道に迷うことはなさそうである。



堰にはせき止められた水がたくさん貯まってました。



農業などで水を利用するために大正時代に完成した堰(せき)がそのまま残っています。堰の下流には、このような景色が見られます。



岩に刻まれた丸い穴は、甌穴(おけつ)と呼ばれる自然に出来た穴で、大変珍しいものです。



長い年月で削られた岩々やドーンとそびえ立つ奇妙な形の巨岩(奇岩と言われている)には、力強さや繊細さなど、自然の偉大さを大いに感じさせられました。自然の力って凄い!!

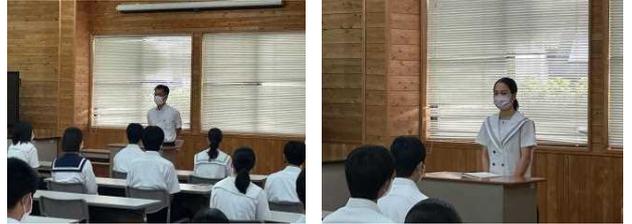


整備された公園には、桜の木がたくさん植えられています。来年の桜の開花シーズンにも訪問してみたいと思いました。実際に自分の目で見て感じる体験って、素晴らしいことですね。お薦めです!!

## ～ 学年朝礼 ～

令和4年9月5日(月)

【3学年】 松下先生と上牧大佳さん



共通テストなど受験を控えた3年生に対し、これらは、全国大会と同じようなものである。これまで「なぎなた競技」で多くの全国大会を経験してきた上牧大佳さんがこれまでの経験を元に話をしました。

『全国大会は、選手のこの大会にかける思いが一層強くなります。会場も普段の大会より大きくなり、四方は他県の観客で溢れています。普段、恵まれた環境でお稽古に励んでいます。全国では実力の差に圧倒されました。みんなで夢実現に向けて100%の力を出せるように、これから頑張っていきましょう。』

【2学年】

三木隆真さん、永野義丈さん、吉村歩夢さん、大坪來夢さんの4名が週末の体育祭に向けた体調管理の方法について、特に熱中症の予防策について調べたことを話をしました。健康管理に努めて、体育祭を成功させようという願いが伝わってきました。

【1学年】 宏洲先生



86,400という数は何の数?

60×60×24を計算すると86,400になります。86,400は一日の秒数です。皆さんが平等に与えられた時間です。

この一人一人に与えられた時間をどのように使うかは人それぞれですが、大切に使うてください。今私が話している間も皆平等に時間は流れていきます。この時間をただ黙って聞き流すか、少しでも何か得ようと耳を傾げるかで全然変わってきます。一瞬一瞬を真剣に取り組んでください。一秒が一分、一分が一時間、一時間が一日、一日が一年と積み重なっていきます。だからこそこの一瞬を大事に使ってください。